

## 官民学協働による企業説明会等の取組み（佐賀県鹿島市）

### 取組概要

- 鹿島市近郊4高校の生徒1,451名及び教師に対し講演を実施
- 鹿島市内の団体機関及び保護者の集まりに対して、地方創生全体概要について講演を実施
- 財務省主計官による鹿島市内経済界に対する「財政講演」及び意見交換の実施
- 財務省福岡財務支局による「財政教育プログラム」の実施
- 広報活動の実施【ファイナンス】【コロンブス】
- 鹿島市としては初めてとなる高校2年生を対象とした「企業説明会」の実施（31年2月）

人口 29,817 人 (H30.1.1現在)

担当 総務部 理事

### 取組の効果

#### ○講演関係

⇒生徒から「地元を盛り上げる必要性を感じた。若い世代が意見を持ち寄り話し合いたいと思った」などの意見が続出  
⇒市民から、「意見交換をさせていただきたい」など励ましのメッセージ

※人口減少への問題意識の醸成や高い技術を持った地元企業があるとの認識を持ってもらうことができた。

#### ○財務省主計官による講演及び経済界との意見交換

⇒経済界から軽減税率、働き方改革等について活発な意見

#### ○財務省福岡財務支局による市内中学校への財政教育プログラムの実施

⇒生徒から活発な意見が続出

※国の取組みや日本の財政への関心が高まった。



【主計官と経済界との意見交換】



地方創生について高校生に講演



財政教育プログラム（福岡財務支局）

### 創意・工夫した点

#### ○講演関係（鹿島市では初めての取組み）

⇒進学や就職を控える高校生の参考となる内容の講演を実施

⇒生徒からのアンケート結果や講演内容をプレス発表、市内中小企業への配布、ケーブルテレビで放映するなど、伝える手法を工夫

### 他団体へのアドバイス

・あらゆる機会を通じて、住民や市・町内の生の声を聞くことが重要

・「若者流出」については、他団体も同様であると認識。積極的に若者と交流する機会を設け、大人から子供へあらゆる事を伝えていくとともに、子供たちの意見に耳を傾けることが必要